

平成 29 年度（第 61 回）

岩手県教育研究発表会発表資料

社会/地理歴史・公民分科会

社会科において自分の考えを表現できる児童の育成
～「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業実践を通して～

平成 30 年 2 月 9 日
北上市教育委員会
北上市立江釣子小学校
長 畑 美 穂

平成29年度（第61回）
岩手県教育研究発表会



平成30年2月9日（金）
北上市立江釣子小学校
教諭 長畑 美穂

1 研究主題

社会科の学習において、「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業実践を行うことにより、自分の考えを表現できる児童を育てることができるだろう。

2 目指す子供像(高学年)

自分で考え,表現する子供とは

- (1) 根拠を示しながら, 比較・関連・総合して考え, 自分の考えを表現できる子
- (2) 話合いや討論を通して考えを深め, 多面的に捉える子

3「主体的・対話的で深い学び」の 視点を取り入れた授業とは

- (1) 教科・単元・1単位時間の目指す児童の姿を明確にした授業。
- (2) 学習問題の発見と解決に向けて, 子供たちが意欲的に交流する場(ペア・グループ・全体)を位置付け, 交流の仕方を工夫する授業。

4 研究の実際



(1) 資料を多面的に捉えるための交流

(3) 考えを広げ深めるための交流

社会

(2) 多様な見方・考え方に気付くための交流

(4) 社会的な見方・考え方を広げるための交流

子供たちが意欲的に話し合う交流の工夫



(1) 資料を多面的に捉えるための交流

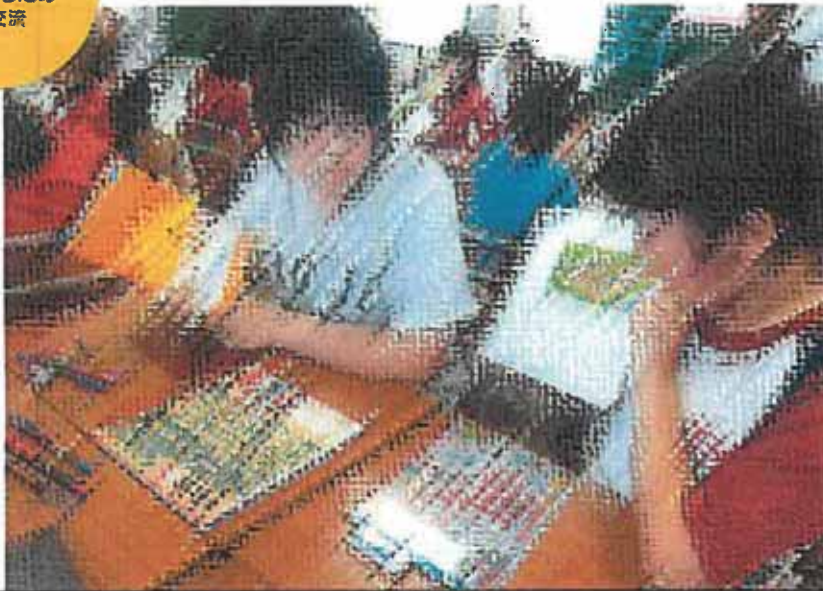
6年「武士の世界が始まる」H2 9



目的・個々の気づきを整理し、資料を多面的に捉えるためのグループ交流。

6年「武士の世界が始まる」H29

(1) 資料を多面的に捉えるための交流



成果—視覚に訴える資料を比較させることで、興味・関心をもたせることができ、個々の気付きがたくさん生まれ、多面的に捉えることができた。

5年「世界とつながる日本の工業」H28

(2) 多様な見方・

目的—賛成・反対のバロメーターを活用して、多様な見方・考え方に気付くためのグループ交流。

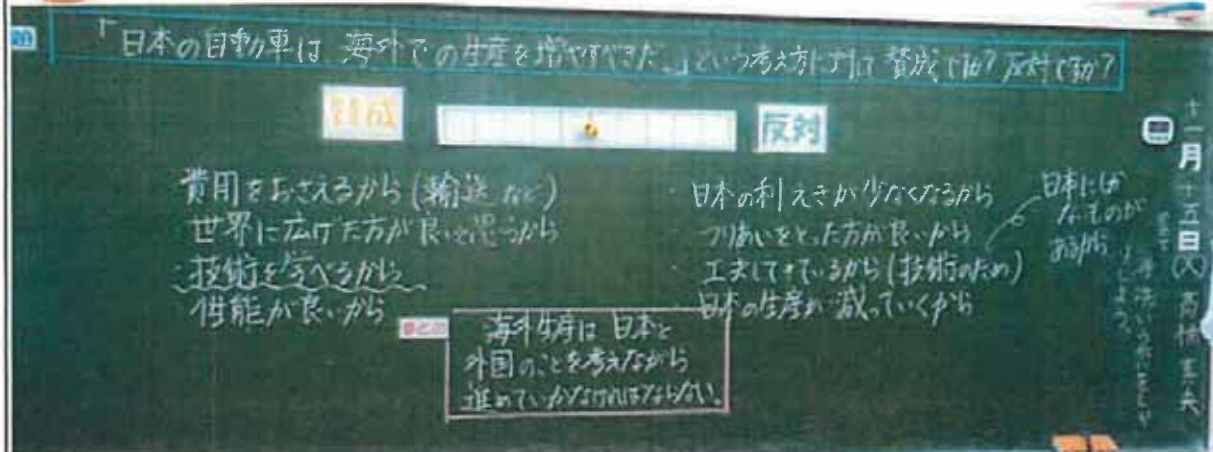
「日本の自動車は、海外での生産を増やした。」という考えに対して賛成(○)反対(×)?

賛成	反対
費用をおまえるから(輸送費) 世界に広げた方が良さから 技術を学べるから 技能が良いから	日本の利えきか少なくなるから 安いものの方が良いから 工業しているから(技術的な) 日本の生産が減っていくから

海外生産は日本と外国のことを考えたから進んでいるわけではない。

十一月十五日(木) 高橋 大

5年「世界とつながる日本の工業」H28



成果—自分の書いたバロメーターを根拠にしてジグソー学習を行ったことで、多様な見方・考え方に気付くことができた。

ア 5年「工業の今と未来」H28

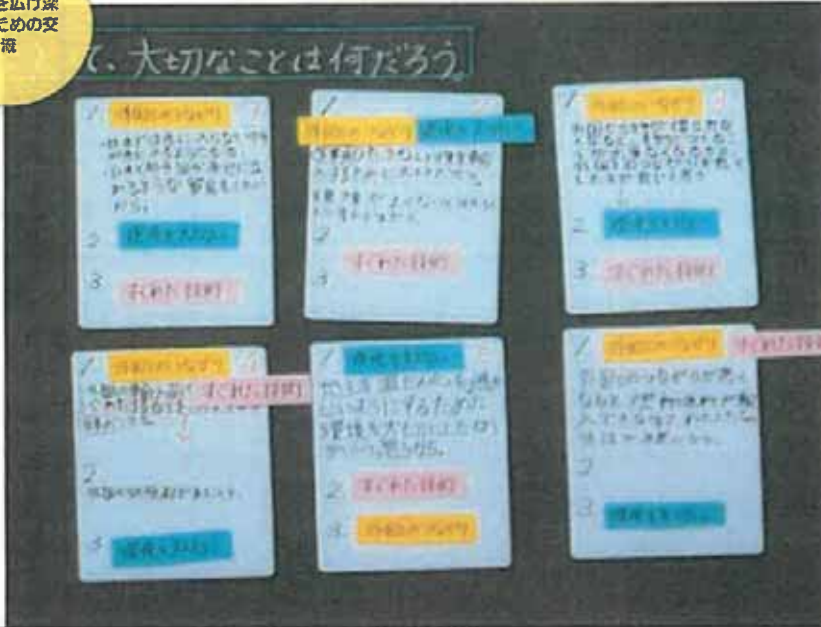
(3) 考えを広げ深めるための交流



目的—「外国とのつながり」「環境を大切に」「すぐれた技術」の3つをランキングにすることで試行錯誤を繰り返し、考えや思いを広げ深めるためのグループ交流。

ア 5年「工業の今と未来」H28

③ 考えを広げ深めるための交流



成果ーランキングにするにより、話し合う内容と目的が明確になり、グループ交流が活性化した。また、多様な考えを交流したことで、考えが広がり深まった。

イ 5年「自動車づくりにはげむ人々」H29

④ 目的の整理、考え方を広げるための交流



研究仮説に関わって

<学習問題の解決に向けて、子供たちが意欲的に交流する場や方法の工夫>

- ① 個々に「自動車工場で、より活躍しているのは、人かロボットか。」を選択。**
- ② グループで資料を用いながら考えを交流し意見を一つにまとめる。**
- ③ 全体交流で、立場を明確にしながら反対の考えをもつグループに質問をしたい意見を発表したいして、葛藤させながら集団思考を促す。**

導入

- ① 自動車工場について、前時の調べ学習で気が付いたことや疑問に思ったことを交流する。**
- ② 2枚の写真を見て、本時の学習問題を確認する。**



人

🏭 自動車を組み立てる作業



ロボット

🏭 自動車を組み立てるロボット

本時の学習活動の流れを確認

- ① 自分の立場を、「人」か「ロボット」なのかを明確にする。
- ② 写真や映像を基に、グループ交流し、考えを集約する。(ホワイトボードにまとめる。)
- ③ 全体で討論する。

④ 社会的な見方・考え方を広げるための交流

6年「近代国家に向けて」H29



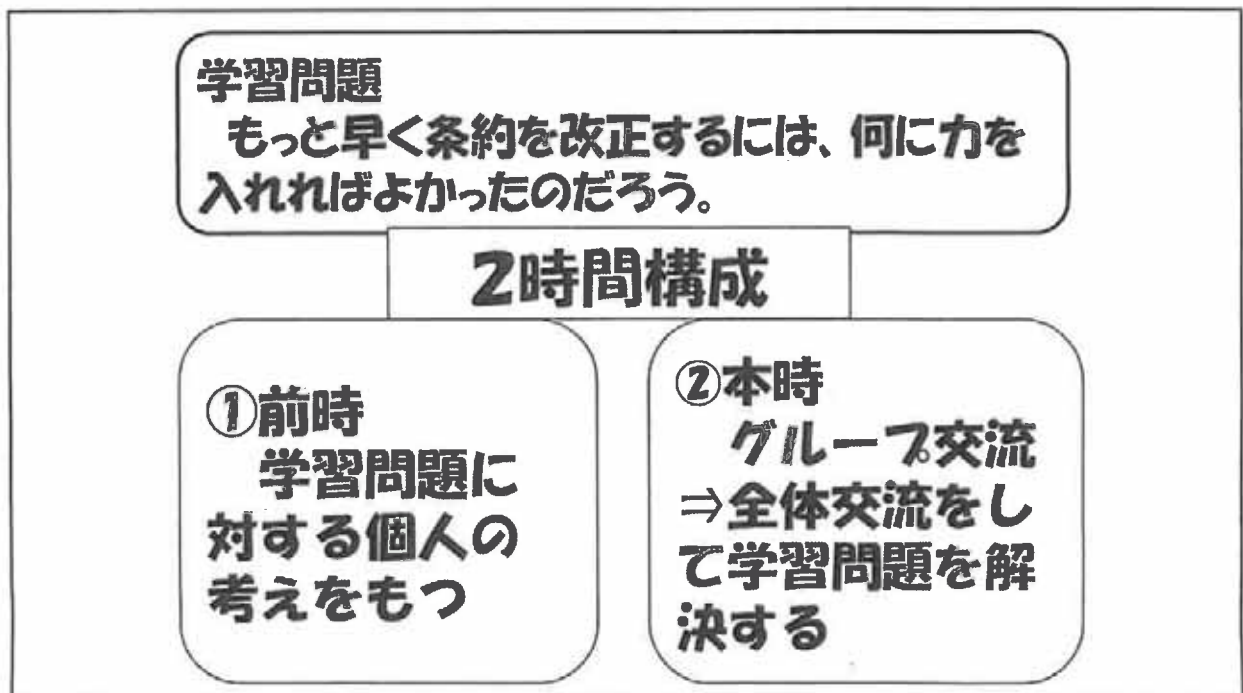
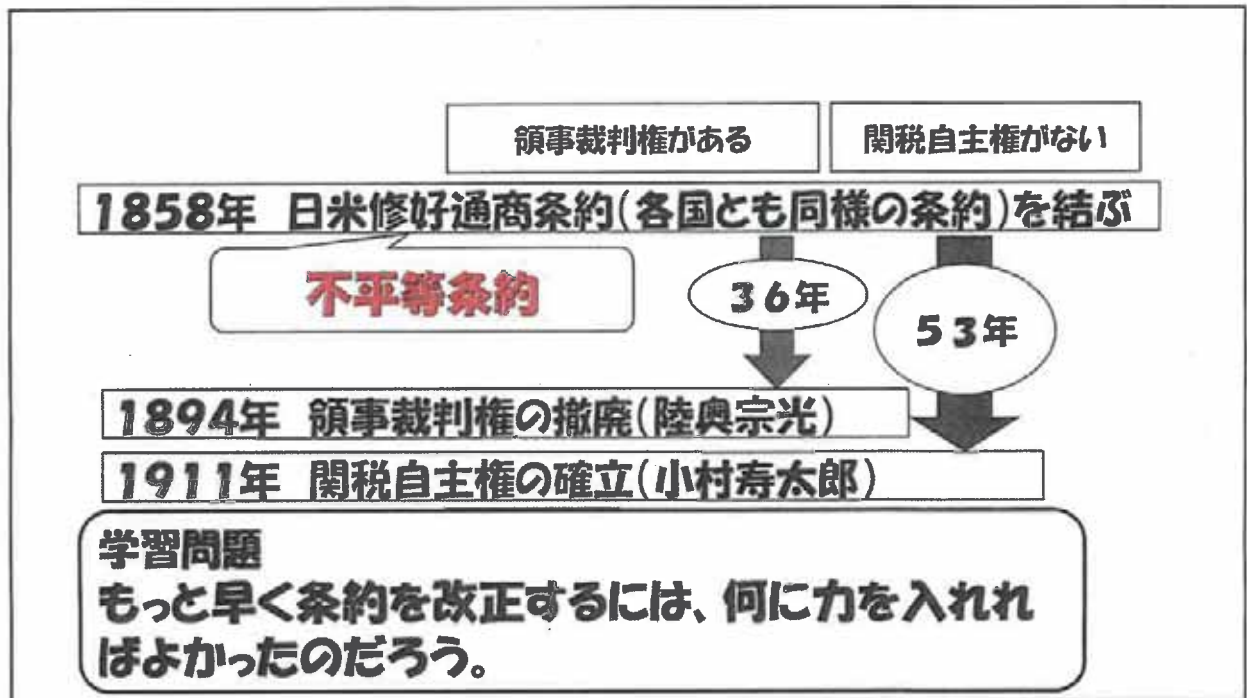
目的「学習問題」もっと早く条約を改正するには、何に力を入れればよかったのか。」について考え、社会的な見方・考え方を広げるためのグループ交流。

④ 社会的な見方・考え方を広げるための交流

6年「近代国家に向けて」H29

成果「対立軸（政治のしくみ、近代化、産業の発展）をはっきりさせたことで、多方面から考え、社会的な見方・考え方を広げることができ、学びが深まった。





① グループ交流

全体交流が活性化するような
グループ編成の工夫



似ている考えの児童同士による
グループ編成

<図1 学級名簿を使ったグループ編成>

	名 前	条約改正をもっと早くするために力を入れればよかったこと	分類
1		近代化	○
2		西洋においつく (近代的なくらし)	○
3		工業の発展	☆
4		軍事力→重工業 (条約もよい条件となる)	☆
5		工業	☆
6		軍事力	□
7		工業→近代化	?
8		軍事力と工業	☆
9		軍事力	□
10		近代化	○
11		軍事力と工業	☆

あとでグループ編成をしやすいように、
似ている考えの児童に同じ記号をつけて類型化した。

似ている考えの児童同士によるグループ編成

- 学級名簿に整理することでどんな意見が出たのかだけでなく、学級の児童の考え方の傾向を掴むことができる。
- 同じ考えを確認するなかで、自分の考えに自信をもつことができるようになった。
- 全体交流で初めて多様な考えに触れることによって全体交流が活性化した。

② 全体交流

深く考える“葛藤場面”の
設定の工夫



AかBか悩み迷いながらも
深く考える場面設定の工夫

学習問題

「もっと早く条約を改正するには、何に力を入れればよかったのだろう。」

軍事力

軍事力以外

日露戦争で多くの費用や人々の命を失ったことについて学習したことが活かされていないと考えた。

与謝野晶子さんの詩「君死にたまふことなかれ」を基として選んだ。

「君死にたまふことなかれ」
与謝野晶子

あゝをどうとよ、君を泣く
(ああ弟よ、あなたのために泣いています。)
君死にたまふことなかれ、
(弟よ、死なないうてください。)
未だに生れし君なれば
(未だに生まれたあなただから)
親のなまきはまさりしも、
(親の愛情はたくさん受けただからうれし)
親は刃をにぎらせて人を殺せとをしへしや、
(親は刃物を握らせて人を殺せと教えましたか)
人を殺して死ねよとて、二十四までをそたてしや、
(人を殺す、自分を死ぬといふあなたを二十四歳まで育てたのですか。そんなはずはないでしょう。)
[文芸春秋社編「日本の詩」 集英社 発行 1991年]



与謝野晶子

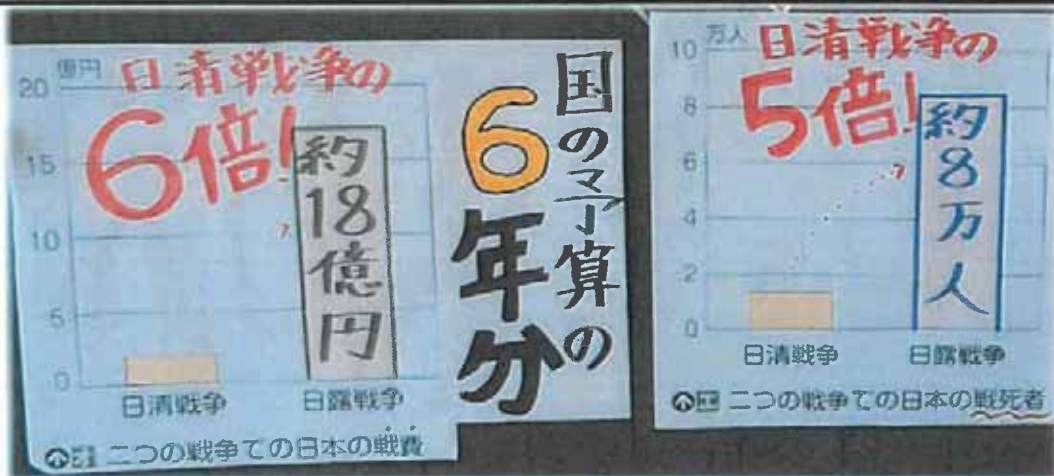
軍事力

VS

軍事力以外



教科書の資料にある日清・日露戦争での日本の戦費と戦死者のグラフも提示した。



T: みんなの意見の多くが軍事力とあるけれど、日露戦争では日本は国の予算の約6年分を使い、約8万人もの戦死者を出しています。与謝野晶子は戦争に弟を行かず悲しみを詩で詩っています。この事実から、改めて軍事力についてどのように考えますか？

葛藤場面の
提示



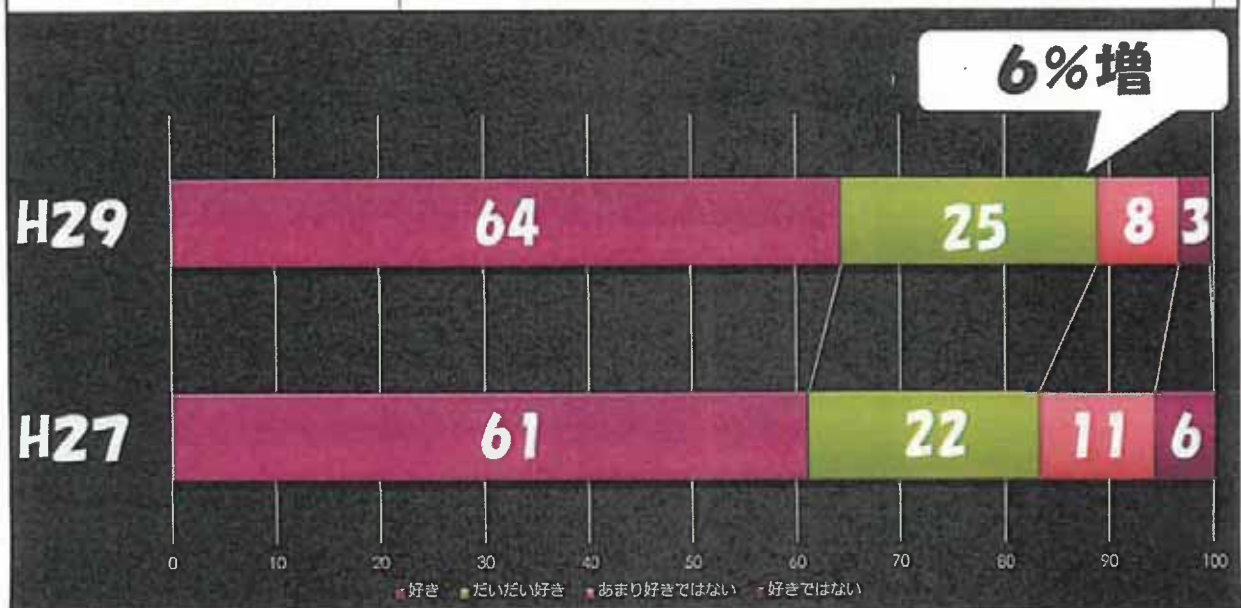
軍事力についての考え



AかBか悩み迷いながらも深く考える場面 の設定の工夫

- ➔ 自分の考えが変わる児童もいたが、やはり軍事力が大切だという児童もいた。
- ➔ 葛藤場面を用いて、別の角度から考えさせることを通して、学習問題についてより深く多面的に捉えることができた。

5 研究のまとめ (1) 児童の学習に対する意識調査の結果

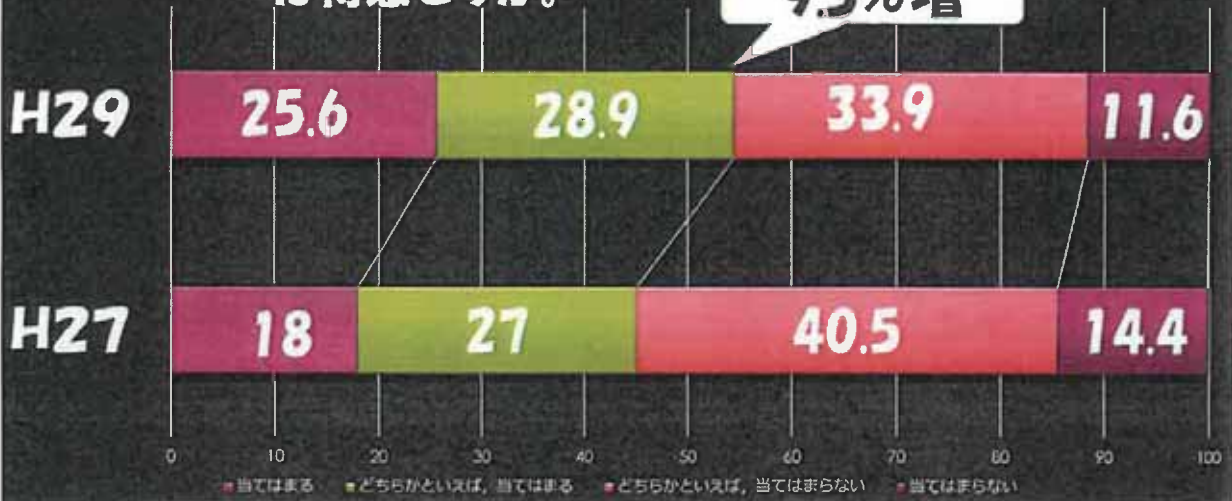


(2) 諸調査の結果

全国学力・学習状況調査 質問紙(7)

友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。

9.5%増



岩手県小学校学習定着度状況調査
社会 正答率 県比



(3) 成果

① 子供たちが意欲的に交流する場(ペア・グループ・全体)を位置付け、交流の仕方を工夫したことにより、活発な交流が行われ、自分の考えを広げたい深めたいすることができた。

② 諸調査の結果から、「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業実践を行うことによって、自分の考えを表現できる児童が増え、学力の向上につながった。

(4) 課題

- ① 子供たちが意欲的に交流する場や仕方を更に工夫していく必要がある。
- ② ペア・グループでの交流から、どのように全体交流で深めていくか、吟味・分析・工夫する必要がある。



自分の考えを表現できる児童

